

体の不思議の正体その①

指を曲げる時、脳からの「指を曲げて!」という信号が神経を通して筋肉を縮ませ、筋肉の力が「腱」に伝わることで指を曲げることができます。

親指以外の4本の指の腱はまとまっているから、例えば小指を1本だけ動かそうとしても、ほかの指もつられて動いてしまうのです。



体の不思議の正体その②

梅干しやレモン等の酸っぱいものの写真を見ていると口の中に唾液がたくさん出てきます。

これは酸っぱい梅干しやレモンを食べたときに、たくさんの唾液を出したことがあるから起こる現象だそう。脳がこの食べ物は酸っぱくて唾液をたくさん出したって覚えているんだね。

ちなみに梅干しやレモンを食べたことがない人はこの写真を見ただけでは唾液が出ないみたいだよ。

体の不思議の正体その③

「くっつくな」と思っているのにくっついてしまうのは不思議ですね。

実は、手の指は力を入れないで自然な状態にいるときは、曲がっています。

指を反らせて空間を作っている状態をキープするのは、頭で考えている以上に大変なことなのです。だから自然と指はくっついてしまうのです。

体の不思議の正体その④

簡単そうに見えるのに、難しいのはなぜか…

人間は主に左半身は「右脳」、右半身は「左脳」が担当しています。でも両手を交差させてさらにひっくり返すことにより、右手と左手が逆になる。その結果、脳が混乱して正しい判断が下せなくなるからなのです。

正面から歩いてくる人を避けて進むことができます??

少し離れた距離から2人で向かい合って歩き、左右どちらかに避けてスムーズにすれ違うことができますか?
お互いに何度も同じ方向に避けてしまって、なかなか通れない...という経験、何度もしたことありますよね?
これは「連続回避本能(れんぞくかいひほんのう)」と言って、人間の本能として“前と同じ行動はしたくない”と体が勝手に逆に動いてしまうために起こってしまうそうです。



本屋に行くと...

ずっと本屋にいと、なぜがトイレに行きたくなくなってしまうことありませんか?
実は多くの人々が感じていることで「青木まりこ現象」と呼ばれています。

1985年に『本の雑誌』という月刊誌に、「本屋でトイレに行きたくなくなる現象」について投稿した青木まりこさんの記事が反響を呼び、名づけられたのだとか。

原因は解明されていませんが、インクのおい、本を選ぶ時の緊張感などが説として考えられています。

つい「赤！」と答えてしまいませんか?

正解は「青」です。書いてある文字の形や意味は、見た瞬間に理解することができますが、それを無視して色だけに意識を向けるのは難しいですね。

人間は色の情報よりも先に文字情報を読み取ってしまうので、青と答えるのに少し時間がかかってしまうのです。

これを“ストループ現象”と呼びます。

皆さんは自分の体に対して、不思議だな～、なんでだろう?と思ったこと、ありませんか?

その不思議ななぜを「なんでだろう、まあそういうものだもんね～」とか「なぜか気になるけど調べるまでもないか...」とそのままだにしている人も多いのでは?

その理由や“なぜ”に対して、調べてみると新たな発見や自分の体のすごさに気づくことができるかもしれません。

なんでなんだろうと思ったことを調べる癖があると、調べたことが知識となり、何かの時に役立つかも!?

なんで?どうして?と思うことがあれば、保健室にいる私にもぜひ教えてください😊

今回の掲示物は...

「さらに!できるかな?人体おもしろチャレンジMAX人間のバランス・錯覚・構造のはなし」
監修 順天堂大学保健医療学部特任教授 坂井健雄/えほんの杜
を参考・引用して作成しました。

保健室に置いてあるので、気になる人はいつでも読みに来てくださいね!!

